

XAFSで拓く地球惑星科学の最前線

主催

- ・ 国立大学法人 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 地球惑星システム学プログラム
- ・ 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 高知コア研究所

共催

- ・ 広島大学プレート収束域の物質科学研究拠点 (HiPeR)

【日時】 2025 年 12 月 5 日 (金曜日) 13:00~17:00

【場所】 広島大学東広島キャンパス中央図書館ライブラリーホール + オンライン

【概要】 地球は表層から深部に至るまで、多様な化学反応と物質循環を経て進化した。元素の化学状態や局所構造を反映するX線吸収微細構造 (XAFS) は、地球環境の進化や地球外物質の形成を知る上で極めて有力な手法である。本シンポジウムでは、放射光科学、地球環境化学、高圧地球科学、宇宙化学などを専門とする研究者を招き、XAFSによる最新の研究成果とその展開について議論する。

【プログラム】

- 開会の挨拶 片山 郁夫 (広島大学 地球惑星システム学プログラム 副プログラム長)
1. 13:10~13:35 中田 亮一 (海洋研究開発機構 高知コア研究所)
地球惑星科学における化学種分析の重要性
2. 13:35~14:00 大東 琢治 (高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所)
走査型透過軟X線顕微鏡による3次元X線吸収分光
3. 14:00~14:20 学生による研究フラッシュトーク
- ～ 休憩 (10 分) ～
4. 14:30~14:55 堀 真子 (大阪教育大学 理数情報教育系)
非晶質シリカに取り込まれるホウ素の化学形態とその古環境学的意義
5. 14:55~15:20 桑原 秀治 (愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター)
XANESによるマントル物質の鉄価数測定と惑星形成および化学進化の描像
6. 15:20~15:45 河野 義生 (関西学院大学 理学部)
鉄がかんらん岩メルトの構造・物性に与える影響
- ～ 休憩 (10分) ～
7. 15:55~16:20 薮田 ひかる (広島大学 地球惑星システム学プログラム)
小惑星リュウグウとベヌーの有機宇宙化学的比較研究
8. 16:20~16:45 小池 みずほ (広島大学 地球惑星システム学プログラム)
火星隕石の窒素・硫黄化学種解析
- 閉会の挨拶 廣瀬 丈洋 (海洋研究開発機構 高知コア研究所 所長)

入場は自由です。お気軽にご聴講ください。



国立研究開発法人 海洋研究開発機構
高知コア研究所



問い合わせ先

広島大学

海洋研究開発機構

小池みずほ (mizuhokoike@hiroshima-u.ac.jp)

中田 亮一 (nakadar@jamstec.go.jp)